



Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 <通称「人環」(じんかん)> では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニュースレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

招聘外国人学者 [() 内は国籍/所属・身分]

- ・ Juan Francisco Coll先生 (スペイン共和国/ジャウメ 1 世大学准教授)
- ・ Laurent Gajo先生 (スイス連邦/ジュネーブ大学教授)
- ・ 朴孟洙先生 (大韓民国/円光大学副教授)
- ・ 馬海英先生 (中華人民共和国/雲南大学准教授)
- ・ Dieter Spreen先生 (ドイツ連邦共和国/ジューゲン大学教授)

研究者の交流



第36回国際交流セミナー (2頁参照)

毎年多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究活動、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。

2011年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです。

外国人共同研究者 [() 内は国籍/所属・身分]

- ・ Rajesh Ghanshyam Gonnade博士 (インド/国立化学研究所研究員)
- ・ Francesco Campagnola博士 (スイス連邦/イタリア国立東方学研究所研究員) (延べ2回)
- ・ Natasa Visocnik先生 (スロヴェニア/リュブリャ大学文学部助手)
- ・ Istono Minta博士 (インドネシア/サナタ・ダルマ大学研究員)

外国人研究員 (客員教授・准教授)

・次頁(2頁)で詳しくご紹介していますのでそちらをご覧ください。

また、本研究科からは多くの研究者が学会参加や共同研究のため海外に出掛けています。

年度	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
外国人研究員 (客員教授・准教授)	4	6	8	6	6	7	8	7	6
招聘外国人学者	5	2	4	3	3	9	9	4	5
外国人共同研究者	1	1	4	6	5	10	6	6	5

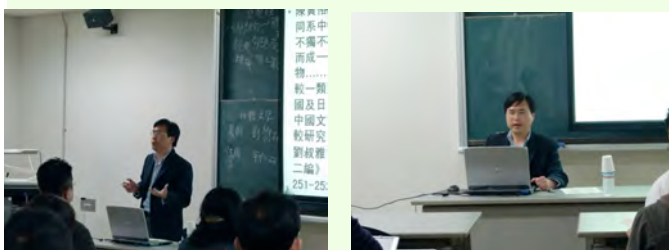
表1 研究者の交流 (人)

国際交流セミナー

大学院人間・環境学研究科では、常時一名ないし二名の外国人研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。懇親会では大いに話が弾みます。以下、2011年度中に実施された国際交流セミナーを簡単にご紹介しましょう。

第33回 2011年4月22日

演者 下東波（ベントウハ）先生
中国 南京大学 中文系准教授
演題 中国文学研究における日本漢籍の役割



第35回 2011年10月20日

演者 メアリー・マクドナルド（Mary G. McDonald）先生
米国 ハワイ大学地理学科 准教授
演題 明治時代における日本の米をめぐる地理学：
20世紀における流動性の基盤形成



第34回 2011年7月15日

演者 陳化（チェンホア）先生
中国 武漢大学数学統計学院科長 教授
演題 ドラムの幾何学的な図形を聞くことができますか？



第36回 2011年12月1日

演者 ケネス・ハリス（Kenneth D. M. Harris）先生
連合王国（ウェールズ） カーディフ大学化学科教授
演題 スコットランドから英国へ、そして化学の世界へ：
その道のりと過程で出会った偉大な研究者達



留学生の概要

本研究科では多くの留学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに、京都大学全体では2011年5月1日現在1,634名（留学ビザの者）の留学生が在学していますが、そのうち128名が本研究科で学んでいます（表2参照）。128名という数は本研究科の全在学学生719名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生を含む）の17.8%に当たり、また、その出身地は24の国及び地域に及んでいます（表3参照）。

1991年（平成3年）4月の開学以来、93名の留学生が博士の学位を取得しました。

表2 留学生受け入れ数
(各年度5月1日現在、留学ビザの者のみ)

年度	留学生数
2003年	102人
2004年	106人
2005年	97人
2006年	106人
2007年	101人
2008年	115人
2009年	131人
2010年	140人
2011年	128人

表3 2011年5月1日 留学生出身国地域別人数

中国	76	韓国	17
台湾	8	ロシア	3
イラン	2	インド	2
インドネシア	2	モンゴル	2
イスラエル	1	ウクライナ	1
ウズベキスタン	1	オーストラリア	1
ギリシャ	1	グルジア	1
ケニア	1	スペイン	1
ハンガリー	1	ブラジル	1
フランス	1	ブルガリア	1
米国	1	ベルギー	1
香港	1	マルタ	1

計128

留学生見学旅行

本研究科では毎年秋、一泊二日の留学生見学旅行を実施しています。留学生にとっては、ひととき、勉強のプレッシャーから解放されて、日本文化に接したり他の留学生や教職員と交流できる良い機会です。留学生の皆さんは、ぜひ申し込んで下さい（詳細は10月初めに発表予定）。

2003年以降の主な旅行先は以下の通りです。

- 2003年11月 加賀、金沢
- 2004年11月 天橋立、城崎
- 2005年10月 高野山
- 2006年11月 広島、安芸の宮島
- 2007年11月 伊勢、鳥羽
- 2008年11月 倉敷、琴平、高松、鳴門
- 2009年11月 姫路、城崎、天橋立、舞鶴
- 2010年11月 飛騨高山、白川郷
- 2011年11月 南紀白浜

2011年の旅行から



京都大学白浜水族館の前で



「南方熊楠記念館」にて



旅館大広間での食事



旅館のロビーで



白浜の千畳敷



アドベンチャーワールド

海外留学

本研究科の学生が海外留学をする場合、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得過程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学留学生課発行「海外留学の手引」を参考にしてください）。以下、2012年4月現在留学中の三人を紹介しましょう。

北山聡佳さん（東アジア文化論分野・博士後期課程）

中国・中国美術学院 国際教育学院 書道系 高級進修生
中国政府奨学金による留学（2011年9月-2012年7月）



書道（篆書）の授業風景



書道・中国画クラスの先生と同級生
（後列左から2人目が北山さん）



観光客で賑わう西湖白堤
（大学は西湖畔にあります）

栗原俊秀さん（創造行為論分野・博士後期課程）

イタリア・カラブリア大学 文・哲学部（専門課程）
現代文献学コース

平和中島財団奨学生として留学（2010年10月-2012年9月）



寮生達と食事（左端が栗原さん）



アルベロベッロにて
（背景は伝統家屋トゥルッリ）



図書館で勉強中

「留学経験を語る会」を随時開催しています。

大学院人間・環境学研究科／総合人間学部 「国際交流推進後援会」にご加入下さい

人環／総人に在籍する留学生および外国人研究者に対する援助、支援を行うと同時に、その他の国際交流活動を推進するための財政的基盤を確立する目的で、2005年1月1日付けにて「京都大学大学院人間・環境学研究科／総合人間学部国際交流推進後援会」が設立されました。この後援会は、本研究科の教職員に限らず、その趣旨にご賛同頂ける方ならどなたでも加入して頂けます（一口2000円）。詳しくは、人環大学院掛窓口までお問い合わせ下さい。

榮加菜子さん（国際社会論分野・博士後期課程）

スイス・ジュネーブ国際・開発高等研究所 修士課程
経団連国際教育交流財団の国際文化教育交流財団奨学生として留学（2010年8月-2012年9月・語学研修を含む）



WTO本部の前で



友人の誕生日パーティー
（中央が榮さん）



グリュイエールのチーズ工場
（右端が榮さん）

◇URL

<http://www.h.kyoto-u.ac.jp/jinkan/>→人間・環境学研究科案内→国際交流

◇問い合わせ先

*国際交流委員／留学生担当講師 藤田糸子
Phone: 075-753-6868
Email: fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp

*京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952（担当：三上ゆかり）
Email: mikami.yukari.8u@kyoto-u.ac.jp

